

家庭科学習指導案

平成16年12月16日(木) 5校時
第2学年8組(40名)
使用教室 被服室
使用教科書 家庭基礎 大修館書店
指導者 税所雅代

1 題材 ライフスタイルと住空間「一人暮らしを考えよう」

2 題材設定の理由

住居は人間の生活の根幹の部分を支えるものであり、生活の基盤である。しかし、生徒にとって現在の住生活は、親が作りあげてきたものであり、生徒たちがその重要性や有り難さを考えず無意識に過ごしている場合が多い。その一方では、将来の生活設定と個々の住居は切り離せないものであり、誰もが快適でありたいと望んでいる。住居の快適さには、間取りやインテリアの要素もある。その快適さは、それぞれの住要求やライフスタイルに大きく影響を受け、様々なものが存在すると考えられる。

将来、主体的に住生活を営んでいく力を育てるために、「一人暮らし」をいうシミュレーションを通して、住要求と間取りとの関係を理解させ、その発展として、それぞれの住要求を持つ家族との暮らしがあることを理解させたい。また、住生活設計をする上で、切り離すことが出来ない経済面とも関連づいて考える機会としたいと思い本題材を設定した。

3 目標

住居は生活の場としての機能をもつことを理解させ、ライフスタイルに応じた適切な住居の計画や選択ができるようにする。また、住居に求められるものは、ライフステージ、個々の生活への価値観などによっても異なることを理解させる。

4 指導計画(10時間)

第4章 生活を営む

Ⅲ 住生活を営む

1 住生活を見つめよう

- | | |
|------------|---------------|
| (1) 人と住居 | 1時間 |
| (2) 現代の住生活 | 1時間 |
| (3) 家族と住空間 | 4時間(本時4/4時間目) |

2 健康で安全な住生活のために 2時間

3 これからの住生活を考えよう 2時間

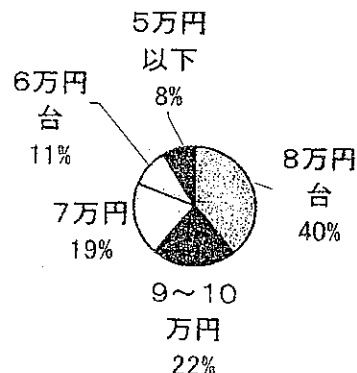
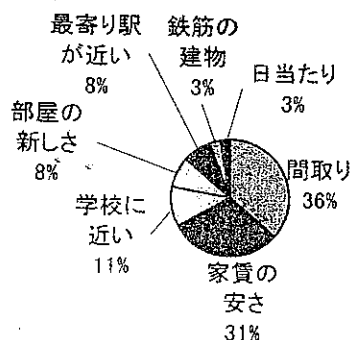
5 生徒の実態

授業態度は真面目で、落ち着いている。進路目標が明確な者が多く、美術の力をつけようと日々努力している姿が見られ、それぞれの個性を認め合い、お互い切磋琢磨している仲間である。全県学区のため、市外からの通学者も多く、下宿をしている生徒もいるが、ほとんどの生徒が卒業後、初めて部屋を借りると考えられる。

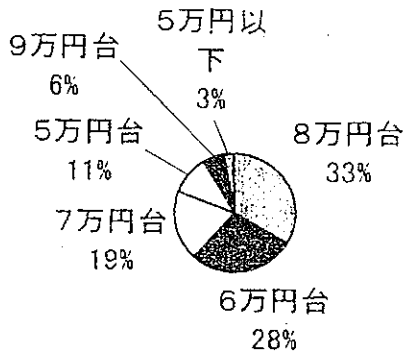
今回の「一人暮らしを考えよう」の学習をするにあたって、現段階の意識調査を行った。

(1) 部屋を選ぶ第一条件は、何ですか。

(2) 生活費を15万円とすると、妥当な家賃はどのくらいだと思いますか。



(3) 今回選んだ部屋の家賃は、いくらでしたか。



○生徒のアンケート結果と分析

部屋を選ぶ条件として間取り（36%）と家賃の安さ（31%）をあげるものが多かった。授業では、生活をするためには様々な費用がかかることを念頭に置かせて、住居の選択をさせたが、家賃の安さを第1条件にあげながらも、8万円台の部屋の選択が多く、家賃は収入の1/3以下と言われる基準や東京の自宅外学生平均6万円台から大きく離れている。

6 本時の実際

(1) 本時の学習目標

- ア 住要求に応じた住居のありかたについて、さまざまな情報から、精選し活用出来る。
- イ 住生活行為と住空間とのかかわりについて理解し、インテリアや間取りの違いによって居住性が異なることを知る。
- ウ 住居の平面図の基礎的知識を学び、ライフスタイルや住要求にあった住居であるかを検討し、快適な住空間づくりに積極的に取り組むことが出来る。

(2) 本時の学習内容

学習時間	分	学習活動	指導上の留意点	評価・資料
導入	5	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の内容を確認する ・本時の学習内容を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間取り図が、書かれているかを確認する。 ・ライフスタイルや住要求にあった住居であるかの観点に留意させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント②（間取り図）
展開	35	<ul style="list-style-type: none"> ・個々により、重視するものが異なることに気づく。 ・重要視した観点ごとに、発表する。 ・パワーポイントを活用する。 ・自分の選んだ部屋との違いやインテリアの配色によって、部屋の雰囲気が変わることに気づく。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・部屋選びで、重視したことは何だったか？また、生活費はどのくらいか試算してみよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を提示する。 ・前時に、重視した観点ごとにグループを分けておき、気づいたことをまとめさせておく。 ・住要求ごとに、生徒の間取り図をグループ分けし、カラーコピーした図を示す。 ・同じ住要求から部屋探しをしても、部屋の選択に幅があることを気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果 ●発表方法を工夫したり、積極的に取り組んでいる。(関心・意欲・態度) ・評価カード(自己) ・プリント② ●ライフスタイルや住要求が間取り図やインテリアに生かされている。(技能・表現) ・評価(相互) ・プリント③

展 開	35	<ul style="list-style-type: none"> ・交通費や公共料金などについては、情報収集は事前に行う。(親に聞いた、インターネットの活用等を行う) ・選択した部屋の家賃が、15万円の生活費の中で、妥当であるかを確認する。 ・自分の予想と全国平均を比較する。 ・一人の部屋を借りるだけでも、ライフスタイルタイトルや経済面など様々な要素を考慮する必要があることに気づく。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">15万円の生活費で、実際に生活が出来る部屋を選択しているだろうか？</div> <ul style="list-style-type: none"> ・個々に1か月の生活費を予想させておく。 ・全国平均のデータを示し、比較させる。 ・それぞれ重視する観点は異なるが、安らげる空間となっているか確認する。 ・家族との生活では、考えなければならぬ点が多いことを認識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな情報から、自分に適したものを精選し、活用できている。(思考・判断) <ul style="list-style-type: none"> ・評価カード(自己) ・プリント③ ●住生活にかかわる基本的な知識を理解している。(知識・理解) <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの活用 ・プリント③
	終了	10	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選択についての問題点を見つけ、どのような改善をするべきか記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題点を見つけることが出来ない生徒には、他の生徒の意見を参考にさせる。

(3) 本時の評価

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
発表方法を工夫したり、積極的に取り組んだりしているか。 住居選択の実践的な態度を身につけているか。	さまざまな情報から、自分に適したものを精選し、活用できているか。	ライフスタイルや住要求が間取り図やインテリアに生かされているか。	住生活に関わる基本的な知識を理解している。

7 参考資料

- (1) 全国大学生協ホームページ
- (2) 総務局統計教区ホームページ 「家計簿からみたファミリーページ」
- (3) 週間CHINTAI 首都圏
- (4) 住宅情報雑誌 タウンズ
- (5) 学研ホームページ「私の部屋づくり」